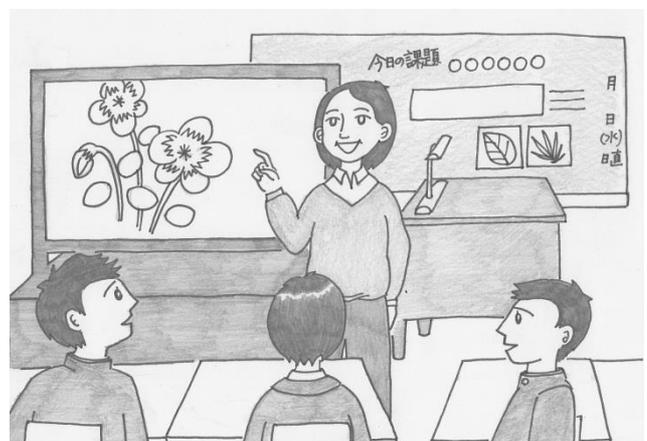


# 平成 29 年度 川崎市立中学校 学習状況調査 概要



## ◎ 調査の概要

### 1. 調査の目的

学習指導要領に示されている各教科（国語・社会・数学・理科・英語）の目標および内容の「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」について学習したものが、いかに生徒に定着しているかを全市一斉に学年ごとの同一の問題によって調査する。そして、その結果を診断し、今後の学習指導の改善に役立たせる。また、生徒自らが学習状況や学習課題の把握ができるようにする。

### 2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

### 3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

### 4. 調査実施日及び調査対象人数

- |            |                |
|------------|----------------|
| (1) 調査実施日  | 平成29年11月14日（火） |
| (2) 調査対象人数 | 学校第1学年 9,692 人 |
|            | 学校第2学年 9,671 人 |
|            | 学校第3学年 9,863 人 |



## ◎ 調査結果の概要

○定着していると考えられる内容 ●課題があると考えられる内容

### 知識・技能に関する問題

#### 国語

○会話の内容を的確にとらえて聞くこと ●漢字を書くこと

#### 社会

○基本的な資料を読み取ること ●世界と日本との関連や時代の流れを理解すること

#### 数学

○単項式や多項式の四則計算をすること ●数量の関係を表す式を目的に応じて変形すること

#### 理科

○実験や観察の操作手順や注意事項を理解すること ●密度や抵抗など、割り算の立式や計算

#### 英語

○文を組み立てること ●正しい綴りで書くこと

### 思考・判断・表現に関する問題

#### 国語

○文学的文章を読み取ること ●文章からとらえたことや自分の考えを記述すること

#### 社会

●複数の資料を読み取り関連付けたり、既習事項と関連付けたりして考察し表現すること

#### 数学

○間違いを指摘して理由を説明すること ●文字を使った式を用いて適切に説明すること

#### 理科

○生活経験を基に家庭用電気器具のつなぎ方を考えること ●グラフや資料等のデータを活用して考察すること

#### 英語

●場面や状況を理解し、それに適した文章を正しく書くこと

### 平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語
知識・技能	53.8%	56.5%	56.5%	61.5%	60.2%
思考・判断・表現	63.4%	49.8%	42.0%	59.4%	37.9%
全設問	59.1%	54.2%	50.6%	59.7%	49.8%

## ◎ 思考・判断・表現に関する問題

### 1. 国語

#### 文章を的確に読み取り、条件を満たして書くことに関する問題

##### ○出題の趣旨

物語を的確に読み取り、あとの条件を満たしてその内容を説明することができる。

<p>【条件】</p> <p>1 「気持ち」という言葉を使って、一文で書くこと。</p> <p>2 書き出しは「チームは個性と個性のぶつかり合いだから」から始まり、書き終わりは「こと。」に続くように、二十字以上、三十字以内で書くこと。</p> <p>3 読点（、）も一字と数えること。</p>	<p>問四</p> <p>次の文章を読んであとの問いに答えなさい。</p> <p>【物語のあらすじ】</p> <p>木暮監督率いるサッカークラブのキャプテンである星川は、技術力のあるフォワードである。星川は、皆のやる気のなさがチームが負け続ける原因なのではないかとイライラし、こんな弱いチームにいたら、自分も駄目になるのではないかと思い、チームの皆にきつい言葉をかけてしまうことが多くなっていた。そんな中、ティフェンスの樫井のパスミスで、またはやチームは逆転負けしてしまう。星川はベンチに戻っても樫井を責め続けている。</p> <p>(カ) 一線④ 「チームのみんなにとって大事なこと」とありますが、それは何ですか。文章中の言葉を用いて説明しなさい。ただし、次の条件を満たすように書きなさい。</p>
<p>正答率 37%</p> <p>・条件を満たし内容をとらえているが、文として適切な表現でないもの 4%</p> <p>・記述しているが、条件を満たしていないもの 38%</p>	<p>正答例</p> <p>ときにはけんかになっても、自分の気持ちを口に出して伝える (28字)</p>
<p>主な課題 自分の伝えたい内容を条件に合わせて言葉で説明すること</p>	

##### ○授業改善に向けて

新学習指導要領解説国語編では、「情報の扱い方に関する事項」が新設され、話や文章に含まれている情報を取り出して整理し、その関係を捉えることや、自分のもつ情報を整理し、その関係を分かりやすく明確にするような情報の扱い方に関する「知識及び技能」は育成すべき資質・能力の一つとされている。

読み取った内容をまとめて書くためには、自分がとらえたことをよりの確に言葉で表せるように指導することが必要である。

授業改善の手立てとしては、目的や条件に応じて、自分のとらえたことをできるだけ正確に書いたり、それを基に説明したりする活動が考えられる。このような活動の際は、自分のとらえた内容について子どもたちがよく確かめ、「この表現で内容を的確に表すことができているか」、「条件に即して十分な説明にするためにはどうしたらよいか」などを振り返りながら、よりよい表現に高めていくことができるよう指導の工夫をすることが大切である。

## 2. 社会

### 世界の諸地域の特色について考え判断することに関する問題

#### ○出題の趣旨

南アメリカ州とオセアニア州の気候について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。

**問 6** 「南アメリカ州」と「オセアニア州」について、めぐみさんがまとめたレポートをみて、つぎの(ア)～(オ)の問いに答えなさい。

#### 1. ① 自然環境と移民

南アメリカ州は熱帯から寒帯まで様々な気候がみられる。特に熱帯の地域が南アメリカ州の半分以上を占め、熱帯林が広がっている。

オセアニア州の中心であるオーストラリアは、ほとんどの地域が乾燥した草原や砂漠となっていて、人口の大多数が南東部や南西部に集中している。(以下略)

略地図Ⅰ 南アメリカ州

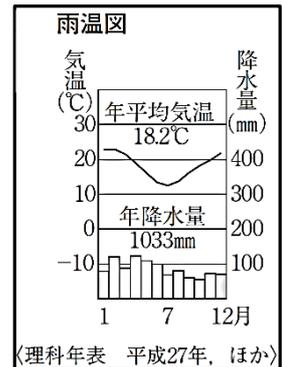


略地図Ⅱ オセアニア州



(ア) 下線①について、略地図Ⅰ・Ⅱを参考にして、右の雨温図にあてはまる都市を、下の□の中の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- |             |        |
|-------------|--------|
| ① マナオス      | ② カラカス |
| ③ アリススプリングス | ④ シドニー |



正 答 : ④ 正答率 : 43% 誤答選択率 : ① 18% ② 15% ③ 23%

#### 主な課題

複数の資料から情報を読み取り関連付けることや、既習事項と関連付けること

#### ○ 授業改善に向けて

地理的分野の目標には「地域の諸事象を環境条件等と関連付けて考察する」ことが示されている。諸地域の学習では、地域的特色である自然条件等を大観し、それらを諸事象と関連付けて考察することが重要である。また、新学習指導要領社会科の改訂の趣旨にも、社会的事象の特色や意味などについて比較したり関連付けたり多面的・多角的に考察したりして表現する力の育成が必要であると示されている。

授業改善の手立てとしては、地域的特色を捉えるための学習課題を設定し、地域的特色を大観して身に付けた地形や気候等の基礎的・基本的知識と、地域に見られる諸事象とを関連付けながら因果関係等を考察し、学習課題を解決する学習過程が考えられる。社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究し、解決することを繰り返して、考え表現する力を育成していくことが大切である。

### 3. 数学

#### 多角形の角の性質に関する問題

##### ○出題の趣旨

三角形の内角の和の性質を用いた考え方を図、言葉、式のそれぞれの表現を解釈し、与えられた三角形の外角の性質を用いた考え方について、根拠を明らかにして説明することができる。

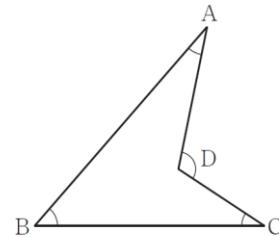
##### 問8 (イ)

右のような図形では $\angle A + \angle B + \angle C = \angle D$ になります。

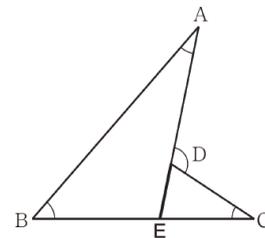
(i)、(ii)の補助線のひき方で、下の表のようにまとめています。

このとき、(ii)の考え方で解答用紙の図に補助線をひき、

理由  を入れて完成させなさい。



図



理由：三角形の外角はそれと隣り合わない2つの内角の和に等しいから

正答率：11%

誤答例：外角の和は、その内角以外の内角の和だから

補助線がひけない：4%

無答率：15%

		(i)	(ii)
図			
考え方		AとCを結ぶ。 △ABCの内角の和は $180^\circ$ だから、 $180^\circ$ から、 $\angle A$ 、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の和を引くと、 $\angle DAC$ と $\angle DCA$ の和になる。 △DACの内角の和も $180^\circ$ だから、 $180^\circ$ から $\angle D$ を引くと、 $\angle DAC$ と $\angle DCA$ の和になる。 したがって、 $\angle A$ 、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の和は $\angle D$ になる。	A Dを延長し、BCとの交点をEとする。 理由 <input type="text"/> $\angle A$ と $\angle B$ の和は $\angle AEC$ となり、 $\angle AEC$ と $\angle C$ の和は $\angle D$ となる。 したがって、 $\angle A$ 、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の和は $\angle D$ になる。
言葉			
式		$180^\circ - (\angle A + \angle B + \angle C)$ $= \angle DAC + \angle DCA$ $180^\circ - \angle D = \angle DAC + \angle DCA$ $\angle A + \angle B + \angle C = \angle D$	$\angle A + \angle B = \angle AEC$ $\angle AEC + \angle C = \angle D$ $\angle A + \angle B + \angle C = \angle D$

##### 主な課題

三角形の内角の和の性質を用いた説明を解釈し、三角形の外角の性質を用いた考え方について、根拠を明らかにして説明すること

##### ○ 授業改善に向けて

学習指導要領解説数学編では、「図形」領域における論理的に考察し表現する力について、「図形を直観的に捉えること」、「数学的な推論に基づいて考察し表現すること」を育成することが求められている。論理的に説明することについては、小学校算数教科でも素地的な経験をしてきていることに留意し、観察や操作、実験などの活動を通して、基本的な図形の性質を見いだすとともに、図形の性質を基にして確かめ説明することができるように指導することが大切である。

授業改善の手立てとしては、説明の過程において、何を根拠として用いてよいのか、どのように用いればよいのかについて、伝え合う活動が考えられる。その際、自分なりの説明を簡潔・明瞭に表現できるように、解答を比較したり、検討したりすることを通してよりよい表現に高めることが大切である。

## 4. 理科

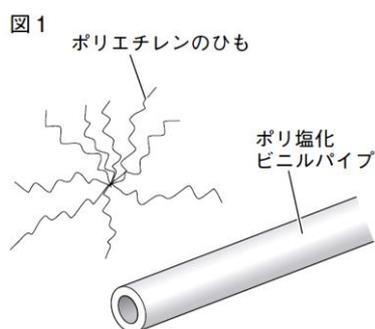
### 同じ知識を活用して、文脈の異なる二つの現象を説明する問題

#### ○出題の趣旨

「同じ種類の静電気は反発する」「違う種類の静電気は引き合う」という知識を活用して、ポリエチレンのひもがひろがることと、ポリ塩化ビニルパイプによって浮くことの理由に適用することができる。

#### 問7 a

[考察] のア、イに入ることは何ですか。正しい組み合わせを次の①～④から1つ選び、その番号で答えなさい。



	ア	イ
①	異なる	異なる
②	同じ	異なる
③	異なる	同じ
④	同じ	同じ

#### 主な課題

「同じ種類の静電気は反発する」という知識を「ひもが広がるということは『離れていること』」「ひもが浮くということも『離れていること』」と考えて適用し、二つの異なる現象が、同じ原因で起きていると考察すること

#### [考察]

- ひもをティッシュペーパーでこすったことで、ひもがひろがったのは、1本1本が  種類の電気を帯びていたからだと考えられる。
- パイプを近づけることでポリエチレンのひもが浮いたのは、ひもが帯びていた電気とパイプが帯びていた電気が  種類だからだと考えられる。

正 答 : 4      正答率 : 32 %  
 誤 答 : 2      (25 %)  
           3      (21 %)  
           1      (20 %)

#### ○ 授業改善に向けて

新学習指導要領の目標には「観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。」と示されている。科学的に探究する力は、「実証性」「再現性」「客観性」を踏まえながら、それまでに獲得した知識を活用して、新たに見出した問題を解決し、また、新たな問題が生まれるという学習過程の中で育まれるものである。そのような学習を通じて、実際に行ったことがない実験の方法や結果においても、同じ原理を適用して、科学的に探究することができる力を養うことが大切である。

授業改善の手立てとしては、実験や観察の場面で、あらかじめ複数の現象を用意して、結果を整理していく中で共通性に気が付かせて、原理を導くことや、結果が得られた後に、その結果から得られた原理を活かすことができる違う場を用意して、適用範囲を広げる活動を行うことなどが考えられる。

## 5. 英語

### 英作文問題

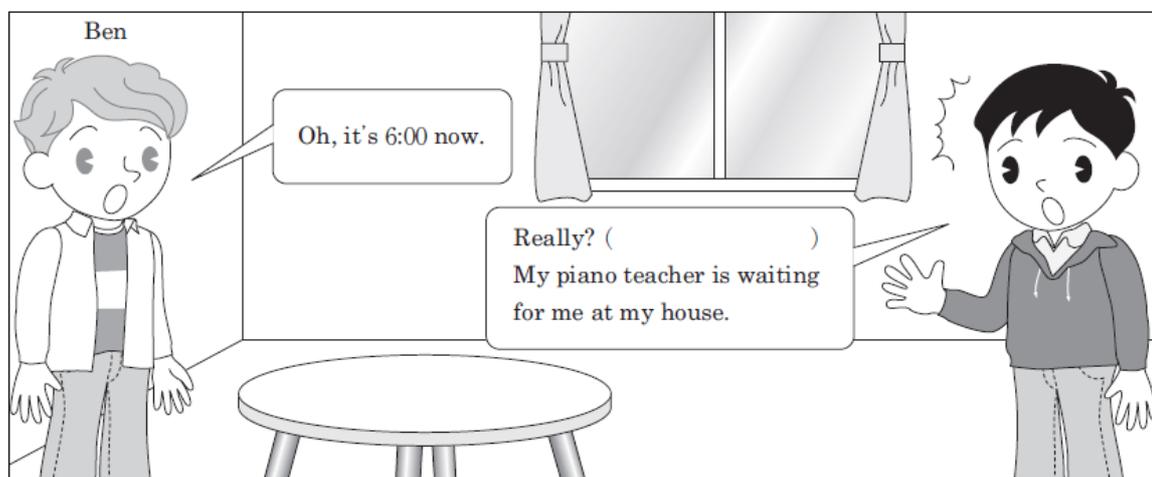
#### ○出題の趣旨

与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿って、会話の流れや絵に適した文章を正しく書くことができる。

#### 問8 b

あなたはベンの部屋で一緒に過ごしていました。次の状況では、あなたなら何と言いますか。

4語以上の英文で書きなさい。



#### 主な課題

会話の場面や状況を理解し、それに適した英文を正しく書くこと

#### 正答例

I must go home now.

正答率 16%

無答率 29%

#### ○ 授業改善に向けて

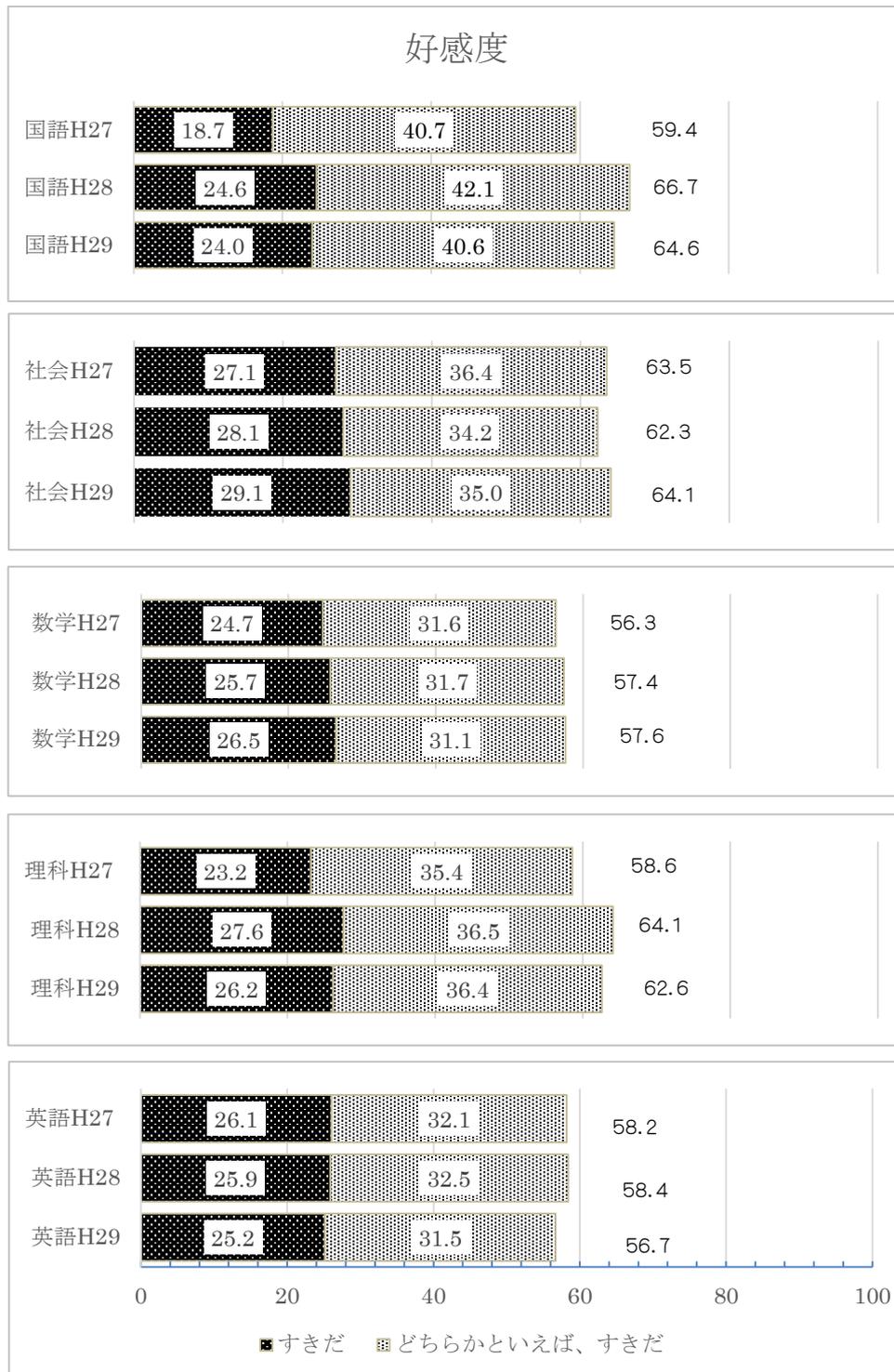
新学習指導要領の目標に「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりする」と示されている。外国語を適切に使用するためには、その目的や場面、状況などを意識することが必要であり、その上で表現したり伝え合ったりするように指導することが大切である。

授業改善の手立てとしては、場面や状況を意識させた上でお互いの気持ちや考えなどを伝え合うような活動を行っていくことが考えられる。また、正しく書くことに関しては、ただ単文を書かせるのではなく、まとまりのある英文を書く学習を繰り返し行う中で、正確な語彙の使い方や文法などを確認していくことが重要である。

## ◎ 生活や学習についてのアンケートについて

### 1. 授業に対する好感度、理解度、有用感について

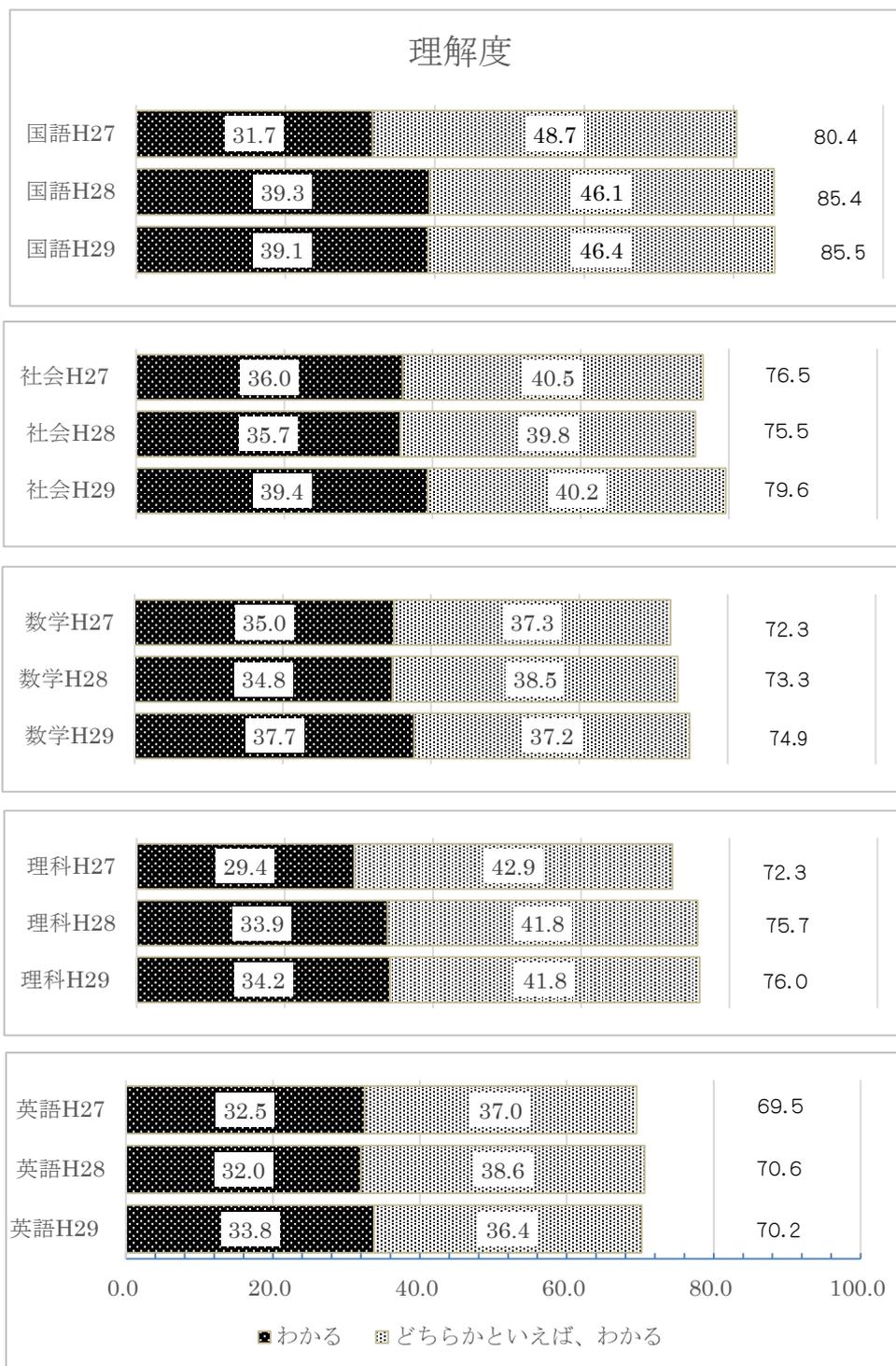
#### (1) 好感度 「すきだ」「どちらかといえば、すきだ」



○授業の好感度（「すき」「どちらかといえばすきだ」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」の64.6%で、以下「社会」（64.1%）、「理科」（62.6%）、「数学」（57.6%）、「英語」（56.7%）となっている。

○過去3年間の各教科の好感度の平均は、「国語」は63.6%、「社会」は63.3%、「数学」は57.1%、「理科」は61.8%、「英語」は57.9%である。

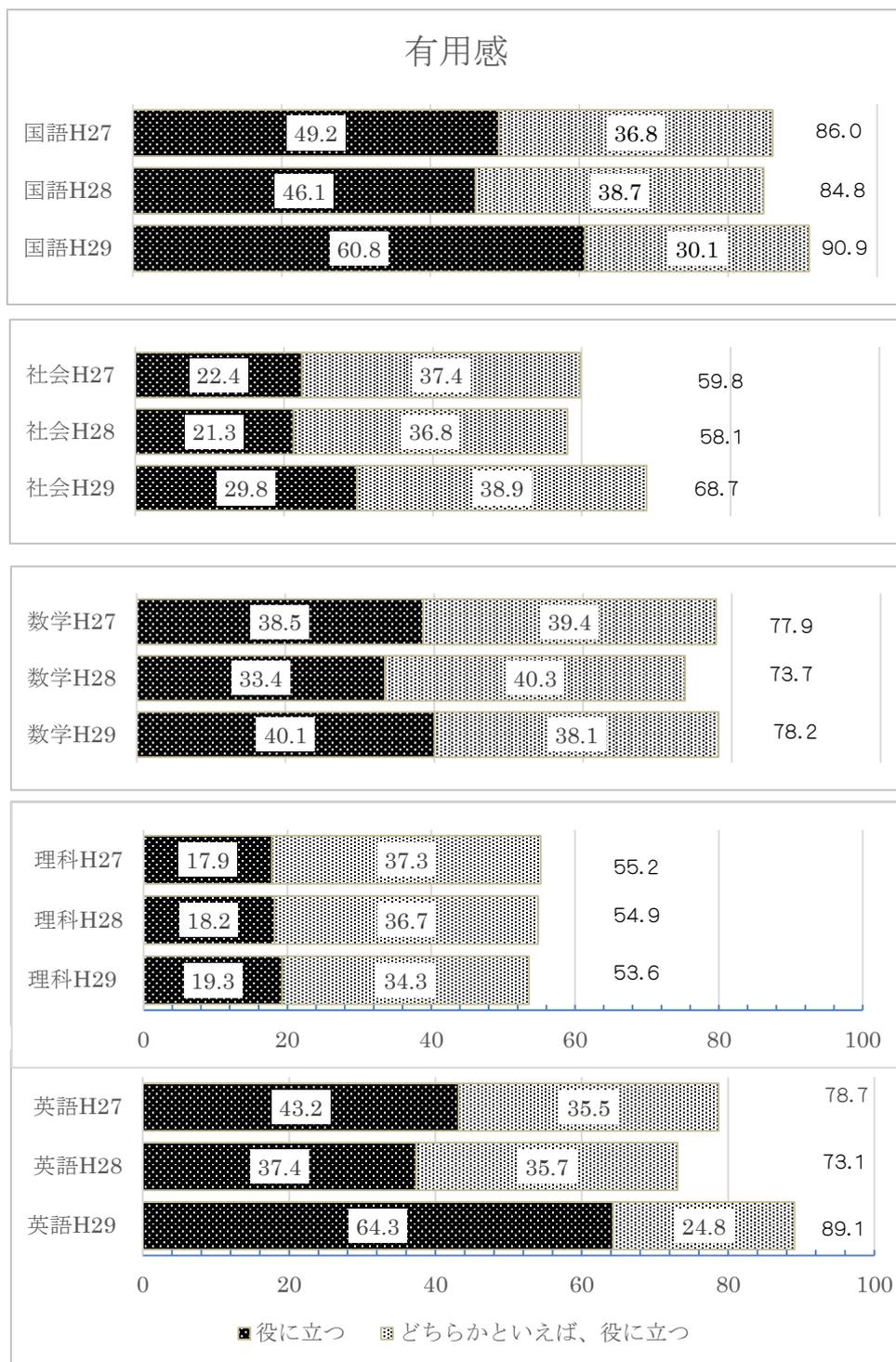
(2) 理解度 「わかる」「どちらかといえば、わかる」



○授業の理解度（「わかる」と「どちらかといえば、わかる」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で85.5%、以下、「社会」（79.6%）、「理科」（76.0%）、「数学」（74.9%）、「英語」（70.2%）となっている。

○過去3年間の各教科の理解度平均は、「国語」は83.8%、「社会」は74.9%、「数学」は73.5%、「理科」は74.7%、「英語」は70.1%である。

### (3) 有用感 「役に立つ」「どちらかといえば、役に立つ」

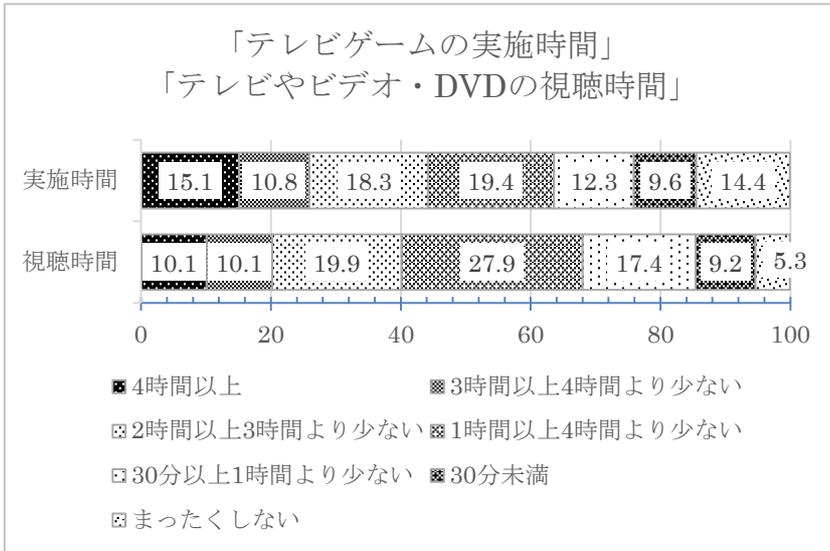


○学習に対する有用感（「役に立つ」と「どちらかといえば、役に立つ」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で90.9%、以下、「英語」（89.1%）、「数学」（78.2%）、「社会」（68.7%）、「理科」（53.6%）となっている。

○昨年度と比較すると、「国語」は6.1、「社会」は10.6、「数学」は4.5、「英語」は16.0ポイント増加している。

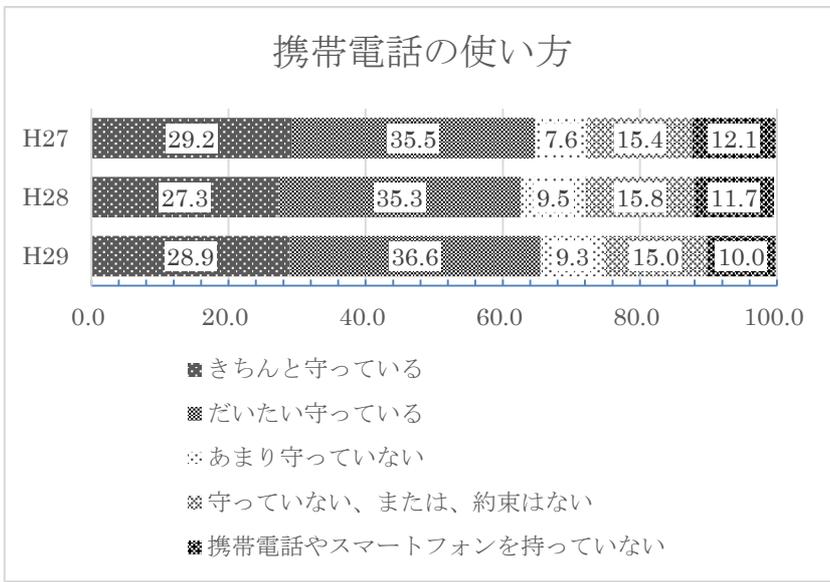
今後ともすべての児童生徒が「わかる」ことをめざして、児童生徒が主体的に学習活動に取り組み、基礎的な知識及び技能と思考力、判断力、表現力等を確実に身に付けることができるように授業改善に取り組む必要がある。

## 2. 家庭生活の実態について

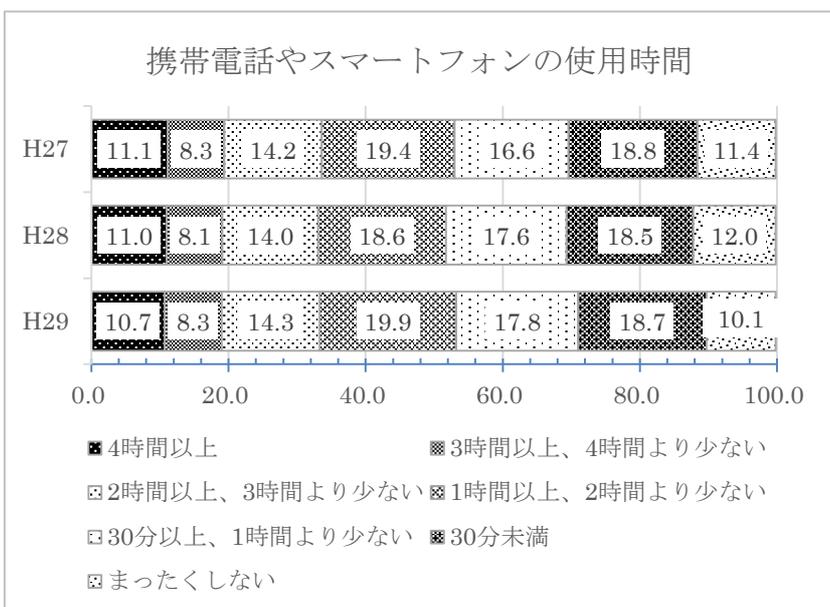


「学校がある日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」では、「1時間以上」と回答した生徒は63.6%、

「3時間以上」25.9%である。また、「学校がある日、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか。」では、「1時間以上」と回答した生徒は、68.0%、「3時間以上」20.2%である。



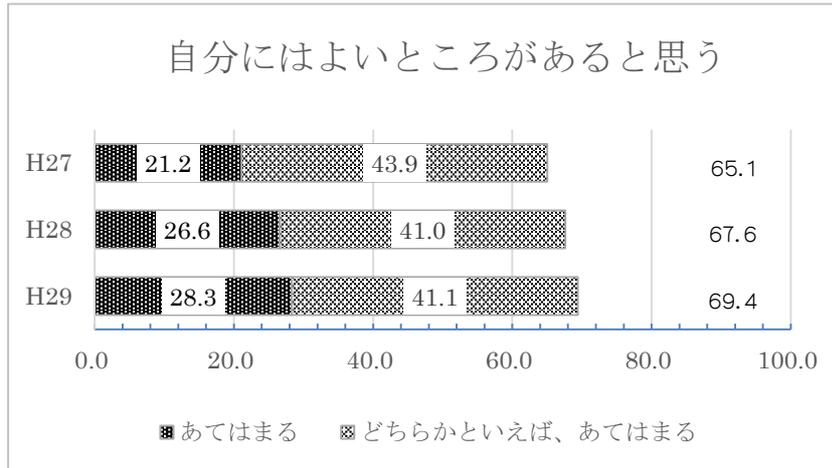
「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」では、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した生徒は、65.5%である。また、「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した生徒は、10.0%である。



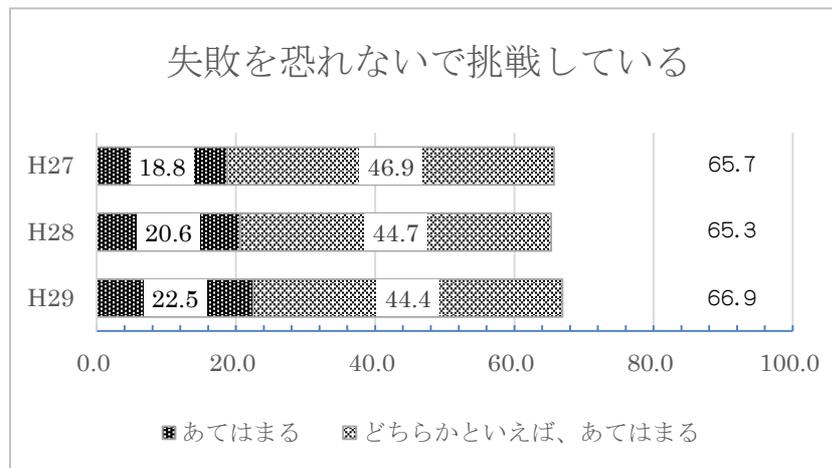
「学校がある日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。」では、「1時間以上」と回答した生徒は53.2%、「3時間以上」19.0%である。

携帯電話等の使い方については、家庭で約束事を決め、学校と家庭が連携して情報活用について正しい知識を身に付けるように働きかけ、今後とも、経年変化や全国調査との関係を見ていく必要がある。

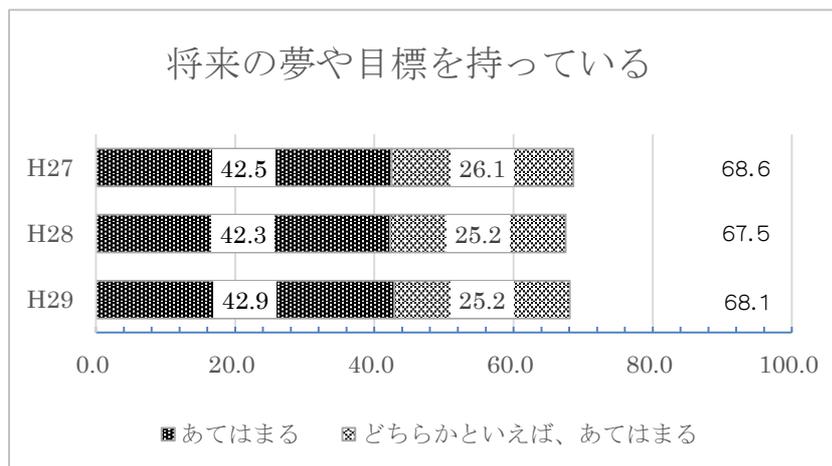
### 3. 自尊心・将来に関する意識などについて



「自分には、よいところがあると思いますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は69.4%である。

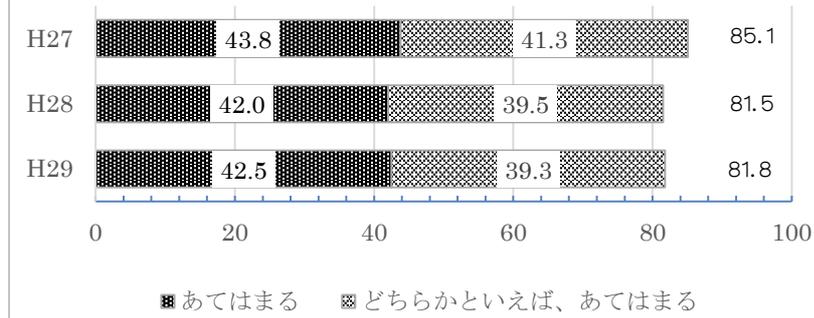


「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は66.9%である。



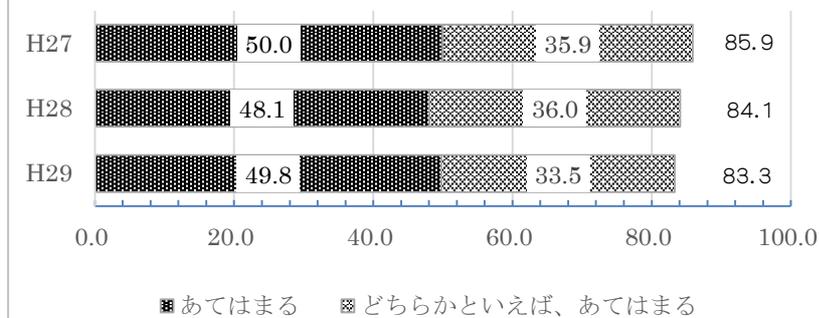
「将来の夢や目標を持っていますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は68.1%である。

### 自分の町が好き



「自分の住んでいる町がすきですか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は81.8%である。

### 友達と協力して活動する



「友達と協力しながら、活動したり勉強したりすることはすきですか。」では、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒は83.3%である。

自分の町を愛する気持ちや、他者と協力して活動することは、かわさき教育プランにおいても大切にしているところであり、今後とも学校では、これらのことを意識した教育活動を進めていくことが大切である。

◎ 調査結果の活用

1. 主な誤答と分析

大問	小問	正答		正答率	無答率	主な誤答 (%)		授業改善への手だて
3	(ア)	A	1	84	0	2 3 4	2 3 11	大問3は、短歌の内容を理解し、的確に鑑賞する能力が問われた。昨年に比べ、正答率が16%も減少した。その中でも、短歌に込められた気持ちを読み取る小問アの正答率は高かった。中学生を題材にした短歌ということもあり、共感しやすかったのだと思われる。 一方、言葉の正確な読み取りを必要とする小問イの正答率は低かった。今後、全体的な雰囲気だけでなく、一つ一つの言葉を丁寧に読み取る指導も心がけたい。 (平均正答率 61.1%)
		B	2	61	1	1 3 4	11 1 26	
		D	4	89	1	1 2 3	7 2 2	
	(イ)	足らぬ裾	28	3	もう卒業 微笑む母 表記の誤り、うつむく、など	66 6 6		
	(ウ)	4	65	1	1 3 6	7 9 7		
	(エ)	1	40	3	2 3 6	13 13 15		
4	(ア)	1	94	1	2 3 4	3 1 1	昨年同様、中学校の部活動を舞台とした物語ということもあってか、全体的に正答率が高かった。 小問ア、ウ、エ、オの登場人物の心情を問う問題では、共感しやすかったこともあり、正答を導きやすかったと考えられる。 一方、条件を満たして記述する力を問う小問カは、他の問題に比べ、正答率が著しく低かった。条件を満たしていないCの生徒が38%と多く、また無答率も20%と高い。文を書くことを最初から敬遠してしまうことのないよう、まずは短文から始め、文を書くことに日ごろから慣れていき、苦手意識を払拭させるようにしたい。授業を展開する上で、「書くこと」を指導する単元を適切に設定する必要がある。 (平均正答率 80.6%)	
	(イ)	1	90	1	2 3 4	3 3 4		
	(ウ)	3	76	1	1 2 4	9 14 1		
	(エ)	4	82	1	1 2 3	10 5 1		
	(オ)	2	90	1	1 3 4	5 2 2		
	(カ)	ときにはけんかになっても、自分の気持ちを口に出して伝える	37	20	B C(無答以外)	4 38		
	(キ)	4	83	2	1 2 3	4 3 9		
	(ク)	1	88	2	2 3 4	2 3 5		

各教科では、主任会や教科総会において、調査結果から明らかになった課題や授業改善への手立てを周知するとともに、学習指導要領実践事例集などで具体的な実践例を示している。

各学校では、設問ごとの授業改善への手立てをもとに、子どもたちが「わかる」を実感できる授業づくりに活用している。

## 2. 個人票

### 川崎市立中学校 学習状況調査 個人成績表

176号 川崎市学習状況調査  
中学2年 2016年 3月1日集計

1499999  
川崎市立〇〇中学校  
2年 1組 1番

#### ■今回の成績

教科	総合成績				知識・技能				思考・判断・表現			
	正答数	正答率	正答率グラフ	市内平均	正答数	正答率	正答率グラフ	市内平均	正答数	正答率	正答率グラフ	市内平均
国語	91	59		80	54		100	63				
社会	92	54		91	57		94	50				
数学	87	51		94	56		75	42				
理科	87	60		93	61		79	57				
英語	86	50		91	60		80	38				
全教科平均	89	55		90	58		86	50				

#### ■教科別分析

##### 国語

「読む・聞く能力」に関しては、あなたは十分な力を発揮しているようです。自分自身で考えたりと考える過程に挑戦してみてください。自分自身で考える必要を感じることがあります。

「書く・書く能力」は十分身につけているようです。そのほかにも書く力を伸ばすことで、表現力も高まるといえます。積極的に話し合いに参加することで、この力を伸ばすことができます。

##### 社会

「社会的思考・判断・表現」の観点から、あなたの成績は高く評価されています。個別の知識をしっかり身につけた後で、それぞれの知識を関連づけて考える練習もしておきましょう。

「資料活用の技能」の観点から、あなたの成績は高く評価されています。統計図などの資料を活用するには、基礎的な知識も必要となります。さらなるレベルアップをはかりましょう。

##### 数学

「数学的思考・判断・表現」の観点から、あなたの成績は高く評価されています。個別の知識をしっかり身につけた後で、それぞれの知識を関連づけて考える練習もしておきましょう。

「資料活用の技能」の観点から、あなたの成績は高く評価されています。統計図などの資料を活用するには、基礎的な知識も必要となります。さらなるレベルアップをはかりましょう。

### 観点別到達度チャート

社会的な思考・判断・表現

資料活用の技能

社会的な思考・判断・表現

資料活用の技能

「社会的な思考・判断・表現」の観点から、あなたの成績は高く評価できます。個別の知識をしっかり身につけた後で、それぞれの知識を関連づけて考える練習もしておきましょう。

「資料活用の技能」の観点から、あなたの成績は高く評価できます。統計図などの資料を活用するには、基礎的な知識も必要となります。さらなるレベルアップをはかりましょう。

No	観点名	正答数 / 問題数	正答率	正答率グラフ (▼は市内平均)	市内平均正答率
1	社会的な思考・判断・表現	16/17	94		52
2	資料活用の技能	13/15	87		53
3	社会的な思考・判断・表現	17/18	94		55

問4

1 3 4 2

ア × リ カ 人 犯 罪 者 せ 日  
本の法律で裁くことが  
できない。

問4(ア) A B C

4 4 / 4 3 / 3

領域名	設問の内容	正答率グラフ	平均正答率	正誤
4	近代の日本と世界		56	○
4	近代の日本と世界		47	○
4	近代の日本と世界		51	○
4	近代の日本と世界		72	○
4	近代の日本と世界		52	○
4	近代の日本と世界		56	○
4	近代の日本と世界		70	○
4	近代の日本と世界		56	○

冬休み前に、教育相談や三者面談の機会を利用して、個人票を返却し、一人一人の生徒が学習に取り組む態度や家庭生活での学習のあり方を改善することに活用している。

また、学校や教員が一人一人の生徒の学習状況を的確に把握することにより、指導方法や教育課程の検証・改善を図ることに活用している。